

>インタラクティブセッション 4

開催形式:ライブ配信

医療で用いる「やさしい日本語」(公募企画)

企画責任者	武田 裕子(順天堂大学大学院医学研究科医学教育学)
企画・司会	武田 裕子(順天堂大学大学院医学研究科医学教育学)
ファシリテーター	石川 ひろの(帝京大学大学院公衆衛生学研究科) 新居 みどり(NPO 法人国際活動市民中心(CINGA))
記 録	有賀 麻輝江(順天堂大学大学院医学研究科博士課程)
講 義	岩田 一成(聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科)

[開催の目的]

本WSは、外国人患者さんにも伝わりやすい「やさしい日本語」を医療者が知り、広めていただくために開催します。「やさしい日本語」は、阪神淡路大震災をきっかけに注目され広まりました。一文を短く、オノマトペを使わないなど、ちょっとしたコツで話せるようになります。今や、日本に住む在留外国人は300万人近くに上りますが、言葉の壁は医療機関へのアクセスを困難にしています。外国人診療＝英語と考えられがちですが、実際は「やさしい日本語」なら理解できる方は8割を超えます(英語は4割程度)。

「やさしい日本語」は、また、高齢者や障害のある方、子どもたちなど、言葉の理解や聞こえに不安のある方々にも伝わりやすくできています。医療現場のコミュニケーション力向上と共に、困難を抱える方々への理解を深めるきっかけにもなります。

[企画概要]

「やさしい日本語」についてのミニレクチャーの後、小グループに分かれて、実際に一般的な日本語を「やさしい日本語」に変換する練習問題を行います。そして、日本語を母語としない方に模擬患者になっていただき、ロールプレイを体験します。これまで、同じ内容のワークショップをオンライン開催していますので、オンサイトとそれほど変わらないプログラムを提供できるかと思えます。時間的な制約がありますので、自主学修できる学修教材もあわせてご案内します。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association
日本プライマリ・ケア連合学会
学術大会
プライマリ・ケア×ダイバシティ
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
会場 オンライン開催
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>